

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2022年8月号

CONTENTS

- ◇ 【 ベトナム通信 】 ～M&A市場について～ P.2 ～
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 P.5
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 P.6
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2022年8月～2022年10月 P.7
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワーク 】 P.8～

常陽銀行シンガポール
駐在員事務所

10 Collier Quay #09-07A

Ocean Financial
Centre,

Singapore 049315
TEL:65-6225-6543

※2022年7月4日より上記住所
に移転しております。

足利銀行バンコク
駐在員事務所

689, Bhiraj Tower
at EmQuartier,

27th Floor, Room
No.2714, Sukhumvit

Road, Klongton-nue,
Wattana, Bangkok

10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ
駐在員事務所

5th Floor, Sun Red
River,

23 Phan Chu Trinh
Street,

Hoan Kiem District,
Hanoi, Vietnam

TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



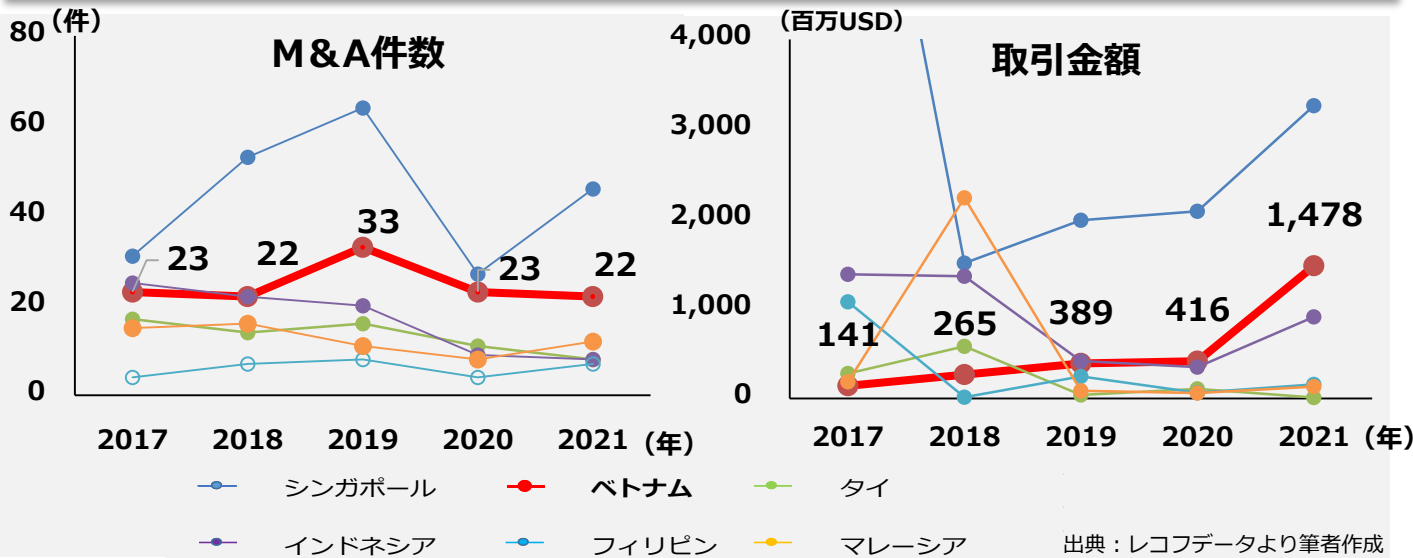
ESコンサルトレーニー
浅野 功貴

～はじめに～

近年、ベトナムは魅力的な投資先として存在感を高めており、2021年の日系企業によるクロスボーダーM&Aの取引件数・金額は、ともにASEAN諸国内で2番目に位置しています。コロナウイルスの影響により買収の動きは一時停滞しましたが、渡航制限等の規制が撤廃された現在、再び加速することが見込まれています。今回は、買い手側の視点から、ベトナムのM&A市場の概況、事例等についてレポートします。

1. ベトナムのM&A市場の概況

・日系企業によるASEAN主要6カ国へのM&Aの状況



ベトナムにおける日系企業によるM&Aの取引件数および取引金額は、ASEAN諸国の中でシンガポールに次ぐ**2番目**に位置しています。2021年の取引件数は前年比で減少した一方で、取引金額は**過去最高**を記録しています。ベトナムへの投資が活発化しているのは、①**高い経済成長力**、②**積極的な外資受入れ**、③**豊富な労働力**、④**政治の安定化**等が要因として挙げられます。

また、ベトナムのM&Aの特徴として、**1件あたりの取引金額が小額**な点があります。2017年～2021年の期間では、1件あたりの金額がシンガポールが77百万USDに対し、ベトナムは**22百万USD**と大きな差があり、大企業のみならず**中堅中小企業がM&Aを行った事例も多数存在**します。

今後も、特に下記の分野で、日系企業によるM&Aが加速すると予測されています。

M&Aが予想される業界

- ① **ロジスティクス、製造、小売** → 日系メーカーの新規進出、中国からの拠点移転
- ② **不動産業界** → ベトナムの富裕層による住宅投資等の増加
- ③ **再生可能エネルギー** → ベトナム政府によるエネルギー政策の転換（再生可能エネルギーへの移行）

2.M&A事例紹介

筆者の出向先のESコンサルティングベトナム（以下ES社）では、買収先の選定から経営統合支援までワンストップでM&A業務のサポートをしております。本項ではES社でサポートをした事例について紹介します。

・ 案件概要



買収経緯

- ・ベトナムにおけるサービス業界の市場規模は、毎年10%以上の成長を記録。
 - ・A社は同業界の成長性に着目し、ベトナムへの進出を検討していた。
⇒市場調査の結果、ベトナムにて多くの販売網を有するローカル企業B社の存在を把握。
 - ・B社は販売活動をより一層促進するため、同業他社からの出資を期待していた。
- ◆ベトナムへの進出、B社の販売網獲得を目的にB社の株式取得（買収）に関心を示す。

問題点

財務・税務・法務DDおよび企業調査を行った結果、

- ①二重帳簿を有していること（納税額過少申告による追徴課税のリスクあり）
- ②オーナー企業の私有化（外注先がオーナー関係企業へ偏っていることによる採算悪化のリスクあり）
- ③内部体制が整備されていないことが判明。

対応策

①段階的に株式を取得

初回X%、1年後に2回目Y%のように段階的に株式を取得し、海外M&Aに対するリスクを軽減。
初回の株式取得後に経営統合に向けた体制整備を行い、整った段階で残りの株式を取得。

②税務調査の実施

ベトナム税務局に税務調査を依頼し、過去の未納税額を清算。

（前回の税務調査時点よりも過去に遡って追徴課税をされることはない）

③経営統合支援（PMI）

買収前より綿密な計画を策定。経営体制の見直し、二重帳簿の解消・内部管理体制の整備等を実施。

結果

- ・A社は、B社の経営資源やノウハウを活用することで、スムーズに海外展開をすることができた。
- ・一方B社は、PMIによる採算向上やA社とのシナジー効果が業績向上に寄与した。
- ・事前調査を徹底し、問題点に対する対応策を実施した結果、買収後のリスクが軽減された。

3.M&A時の留意点

ベトナムのM&A取引では、前項の事例のように多くの問題が発生するケースがあります。

ES社にてM&Aの実務を担当しているスタッフからのヒアリングを基に、特に留意しなければならない下記4点について紹介します。

①外資規制

M&Aによるベトナム進出のスキームでは、当局の投資許可取得は原則不要ですが、下記に該当する場合には、当局の**M&A承認取得**が必要となります。

①売り手が投資条件付分野を営んでいる場合

②51%以上の株式を所得する場合

法改正により手続きが緩和されましたが、引き続き一定の時間を要します。以下は①に該当する分野の一部となります。

例) 宿泊事業、人材紹介事業、運送事業、教育事業 等

③二重帳簿

ベトナム現地企業の多くは、**二重の帳簿を保有しています**。売上、利益の過小申告による追徴課税や、買収前に財務状況がクリアにならない等の問題があります。



②買収価格

ベトナムの売り手企業は成長企業であることが多く、**強気の価格交渉を行う傾向**にあります。詳細な企業調査を実施したうえで、**根拠のある価格で交渉**をすることが重要です。先方が応じない場合の対応策の一例を下記で紹介します。

例)買収後の業績に応じた**インセンティブをオーナーに還元する条項を設ける**ことで、**適正な価格で買収**を実施。

⇒ベトナムは**オーナー企業が多く**、効果的。買い手側も業績向上に繋がりWin-Winに。

④経営統合支援 (PMI)

海外M&Aにおいては、買収後のPMIに大きな時間、コストを割きます。組織構造改革、二重帳簿の解消など、**PMIを行う分野は多岐に渡ります**。

例) ・親子間の連携システム導入

- ・人事評価制度の設計
- ・不正監視体制の整備

M&A時には上記のような留意点が存在し、買収後に多額の追徴課税を課せられるなど、大きな問題へ発展する可能性があります。問題を未然に防ぐためにも、**現地に精通したアドバイザーと問題点を洗い出し、対応策を実施することが非常に重要となります**。ES社は多くのM&Aを支援した実績があり、上記の留意点への対応策を持ち合わせています。

4.おわりに

今後も持続的な経済成長が見込まれるベトナムは、新規参入・事業拡大を目指す世界中の企業から注目される国です。M&A取引ではベトナム特有の問題点も発生しますが、現地アドバイザーをうまく活用して問題を解消することが、現地進出をスムーズに行う方法の1つと考えられます。

めぶきFGではES社のような現地アドバイザーと提携して、M&A取引をサポートしております。ご興味がありましたらお気軽にご相談ください。



【シンガポール】～新事務所へ移転しました～

シンガポール駐在員事務所は、2022年7月4日に新事務所へ移転しました。

引越し当日は、午後3時から荷物を運ぶ導線を養生し、そこから作業を開始しました。荷物の搬出に使用出来るエレベーターは1つのみのため、1日では全ての荷物を運べず、搬出は2日間に及びました。直前に作業開始時間が変更になるなど、ちょっとしたハプニングもありましたが、シンガポールではよくあることです。

様々な方々にご協力いただき、無事7月4日から新事務所で業務を開始することが出来、感謝しております。シンガポールにいらっしゃる際には、ぜひ新事務所にお立ち寄り下さい。事務所スタッフ一同、心よりお待ちしております。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順

【新事務所の入口】



【筆者撮影】

【ホーチミン市工科大学の様子】



【ベトナム】～受験シーズン到来、IT関連学部が人気～

ベトナムでは毎年7月に高校の卒業試験が行われ、今年も全国約100万人の生徒が受験をしました。この試験は「大学入試の合否判定」にも利用され、試験のスコアによって1か月後に受験できる大学が決まります。近年ではIT関連学部を設置している大学に人気が集まっており、出願に必要な試験のスコアは上昇傾向にあります。ベトナムでは従来から外資系IT企業の国内誘致を積極的に進めており、IT人材の活躍の場が増えていることが、学生を引き付ける魅力になっていると考えられます。国を挙げてデジタル化を推し進めているベトナムは、今後益々同分野での発展が期待される国です。

ヴィエティンバンクトレーニー
大津 凌

【筆者撮影】

【タイ】～ナークワック（招き女神）～

日本では、幸せを招く縁起物に招き猫がありますが、タイでも同じように縁起物として「ナークワック（招き女神）」があります。ナークワックはバラモン教の話に由来し、女神になる前の人間である時に、高僧に「商売が盛んになるように」とお祈りされ、裕福な商人になりました。この話からナークワックは商売の縁起物になり、昔からお客様を呼んでくれると信じられており、今でもタイにある屋台や商店ではナークワックの置物をよく見かけます。また、ナークワックは商売繁盛の縁起物ですが、お金を招いてくれるとも信じられており、一般の家庭でもよく見られます。ナークワックはタイ人にとって幸福を招く女神となっています。

足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ ピンパーペン・サウィター

【ナークワックの置物】



【筆者撮影】

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (7/15) 緊急の金融引き締め、インフレ加速に対応
- (7/26) 6月CPIが13年9か月ぶりに高水準

マレーシア



- (7/11) 2022年旅客数、前年比最大4.5倍の予想
- (7/22) 2022年新車市場、販売台数が前年比24%増の予想

タイ



- (7/6) 6月CPIは7.7%上昇、2カ月連続7%超
- (7/26) 2022年上期の自動車生産台数、前年同期比3%増

インドネシア



- (7/19) 法人税優遇措置、対象業種の拡大を検討
- (7/22) アジア開銀、2022年GDP成長率を5.2%に上方修正

フィリピン



- (7/15) 中銀、緊急で0.75%利上げ、物価抑制へ前倒し
- (7/22) アジア開銀、2022年GDP成長率を6.5%に上方修正

ベトナム



- (7/5) UOB、2022年GDP成長率は7%程度と予想
- (7/13) 中銀の金融引き締め、当面なし

〈その他NEWS〉

シンガポール



- (7/1) 環境適合車の優遇制度、2025年末まで延長
- (7/26) 2022年の外国人入国者数400万人~600万人と予想

マレーシア



- (7/18) 感染再拡大で2回目の追加接種者が急増
- (7/19) 外国人労働者の採用数上限を凍結へ

タイ



- (7/13) 中銀、2022年の外国人来訪者800万人到達可能と予想
- (7/18) 政府、9月にも外国人の住宅地保有を容認へ

インドネシア



- (7/11) 国内移動時に追加ワクチン接種を義務化
- (7/13) 外国証券商品の販売禁止

フィリピン



- (7/14) 全校で対面授業義務化、11月から実施
- (7/25) 感染拡大歯止めかからず、1日3500人超え、5か月半ぶり

ベトナム



- (7/18) 夏場の観光需要で航空運賃上昇
- (7/20) ホーチミン市中心地の地代、過去最高

アセアン・インド休日情報

2022年8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9 SG	10 ID	11 JP	12 TH	13
14	15 ID	16	17	18	19 ID	20
21 PH	22	23	24	25	26	27
28	29 PH	30	31 MY			

2022年9月

日	月	火	水	木	金	土
				1 VN	2 VN	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16 MY	17
18	19 JP	20	21	22	23 JP	24 CD
25 CD	26 CD	27	28	29	30	

2022年10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 IN	3	4	5 IN	6	7	8 MM ID
9 IN MY MM MY MM JP	10	11	12	13 TH	14 TH	15 CD
16	17	18	19	20	21	22
23 TH	24 TH IN SG MY	25	26	27	28	29 CD
30	31					

※ナショナルホリデーのみ掲載

※祝祭日名省略

出典：各国ジェット情報等

JP 日本

MY マレーシア

TH タイ

SG シンガポール

PH フィリピン

VN ベトナム

IN インドネシア

MM ミャンマー

ID インド

CD カンボジア

めぶき F G アジアネットワーク (1)

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行 (中国)	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行 (中国)	●		
中国信託商業銀行 (台湾)	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行 (タイ)	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行 (タイ)	●		
バンクネガラインドネシア (インドネシア)	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 (インドネシア)		●	
ヴィエティンバンク (ベトナム)	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行 (ベトナム)	●	●	
ベトナム外国投資庁 (ベトナム)	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク (フィリピン)	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 (フィリピン)		●	
インドステイト銀行 (インド)	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス (メキシコ)	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか (メキシコ)	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行 (JBIC)	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティーサービスの提供

めぶき F G アジアネットワーク (2)

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, # 09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-2852

